

しもつけし 栃木県下野市



村尾光子 委員長

昨年新庁舎を視察させていただいた際にノートブックをいただき、表紙の斬新さに驚きました。それで、今度は議会だよりの勉強をさせていただきたいと思いました。

裏表紙も市民がたくさん登場されていて、どうやって市民を選んでいるのかなと思っていました。市民が登場するということはそれだけ市民にとっても身近な存在になっている議会報だと思います。そこはまだ私たちが前進できていないところなんです。

栃木県下野市ミニ情報

栃木県南部で茨城県とも隣接する人口約6万人の市。東に鬼怒川が通り、「グリムの館」ではグリム童話の初版本の展示やエッチング版画を見ることができる。自治医科大学の附属病院が置かれており、人口あたりの医師数は日本一。

課題は 「議員が直接編集する」こと

燕市の新庁舎視察がきっかけで、「つばめ市議会ノートブック」の作り方を聞きたいということで来ていただきました。

現在の課題は「議員が直接編集する」ということ。委員同士の役割分担、委員と議会事務局との役割分担をもう少し整理しながら、無理せず少しずつ前進させていきたいとみなさん意欲的でした。



ようこそ・燕市へ「手にとって・読んでもらえる・議会だより」を目指しましょう

掘り下げた議論を 「議会だより」に

全国町村議会議長会主催の広報コンクールでは常連入賞の「議会だより編集委員会」のみなさんの来燕です。今年5月の改選で新しい議員も加わり「見やすさ、レイアウト、親しみやすさ、手にとろうという感覚、それが全く違ったものになったという議会だよりを目指したい」と意欲的です。最新号では「全国ナンバーワンの議会だよりを目指します」と宣言しています。



よりいまち 埼玉県寄居町



峯岸克明 委員長

我々が手にとってみたいということでは全国でもナンバーワン、全国屈指の議会だよりだと思います。「市民の声」は、我々の大きな課題だった住民の方に登場いただくという企画がしっかりとできていて、我々も参考にさせていただきました。ありがとうございました。

皆さんの一般質問は、非常にいろんな分野から質問をされているので、市民の関心を引くような見せ方を工夫すると議会活動を活発に行なっているのがよくわかり、さらにいいものになるのではないかなと思います。

埼玉県寄居町ミニ情報

埼玉県の北西部に位置し、自然豊かな人口約3万5,000人の町。観光では春に行われる「北条流鏑馬（ほうじょうやぶさめ）」や夏を彩るぼんぼりや提灯で飾られた「舟山車」で知られる。

議会報等特別委員会では、今回で9カ所目の視察を受け入れました。